

臨床研究「心室頻拍を有する植込み型補助人工心臓症例における、カテーテルアブレーションが予後に与える影響についての多機関共同研究」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究の目的は、心室頻拍の既往がある植込み型補助人工心臓（以下、LVAD）症例における、心室頻拍へのカテーテルアブレーションが植込み後の経過に与える影響について明らかにすることです。有効性が判断できれば、LVAD 症例における心室頻拍への治療方針について、新たな指針に繋がる可能性があります。

② 研究対象者

2005 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに当院、山形大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター病院において、持続性心室頻拍の既往があり、かつ LVAD の植込みを行った症例。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

カルテ記録、カテーテルアブレーションのレポート等を確認し、カテーテルアブレーションの手技や転帰について調査します。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録（身長、体重、性別、内服内容、術中所見、LVAD 植込み術後の心室頻拍の再発や心不全再入院、心血管死などの有無）、検査データ（血液生化学検査、心臓超音波検査、心電図、透視画像）等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 教授 家田真樹

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 利益相反に関すること

当研究においては、開示すべき利益相反はありません。

また、研究者の利益相反は当院の利益相反委員会および臨床研究倫理審査委員会で審査の

上、適切に管理されております。

⑩ 研究により得られた結果等の取り扱いについて

研究結果は論文として国際雑誌に発表する予定ですが、研究対象者に対する個別の結果説明は行いません。

⑪ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 小松雄樹

循環器内科医局 電話 0298533143(平日 9～17時)